



『日本を明るく』

明治時代、フランス人と
イギリス人が日本に灯台を
建てた。
百数十年たった今、ダー
クシーと言われた日本が、
海に向けて明るい光を放っ
ている。

～解説～

日本における西洋灯台の始まりは、明治2年に神奈川県横須賀市に建てられた「観音埼灯台」です。

その後、灯台の建設は日本人に引き継がれ、外国から多くの船が日本に寄港するようになり、貿易が盛んになりました。

今も全国には当時のままの姿で活躍している灯台があります。**歴史とロマンと癒しを求めて**、灯台を訪ねてみませんか？

11月1日は「灯台記念日」です。各地でイベントを開催していますのでぜひ遊びに行ってみてください。

海の「もしも」は118番